

事業所名

ピュアの樹 がっけん



R8/1月 支援プログラム



作成日

R7 年

12 月

15 日

| | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|------|----|------|---------|----|--|--------|
| 法人（事業所）理念 | | こどもの生命と人権を尊重し、将来において温かくいきいきとした生活が送れるよう個々の特性に合った療育を提供します。 地域に根差し寄り添いながら、様々な関係機関の皆様との連携に努めます。 | | | | | | | |
| 支援方針 | | こどもが楽しい！やってみたい！という気持ちを大切に、感覚統合理論の視点を持った遊びを、程良いチャレンジから成功体験を重ねる事で、遊びを通して感覚の発達を促していきます。 | | | | | | | |
| 営業時間 | | 8 時 | 30 分 | から | 17 時 | 30 分 | まで | 送迎実施の有無 | （あり）なし |
| | | 支 援 内 容 | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 以下のような生活に必要なスキルの獲得を目指せるように丁寧にかかわります。 ・自分の荷物を所定の位置に置く、手を洗う ・挨拶をする事で、人とのコミュニケーションを取り、人との関りが楽しいと感じられる ・靴下の脱ぎ方や穿き方のお手本を提示し、自分で身支度ができるように関わる | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | ・大型遊具に乗ったり身体をたくさん使う運動遊びを経験する中で、しっかり見る・聞く・考える・話すをして、チャレンジしたいという気持ちを引き出します ・わらべうたをうたいながら周りの人とタイミングを合わせる経験を重ねていけるように、関わります | | | | | | | |
| | 認知・行動 | ・昔遊びをたくさんお友達としましょう ・わらべうた遊びを行う中で、簡単な約束を守り楽しく遊べるように適切な声掛けをします | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ・わらべうたあそびを介して、リズムカルな言葉を皆と一緒に聞いたり歌ったりして言葉を獲得できるように丁寧に関わります ・挨拶やお礼の言葉を交わせる経験を増やしていきます | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 新しい年の始まりを過ごし昔遊びを行う中で、大人やお友達との信頼関係を築きながら楽しく遊びます | | | | | | | |
| 家族支援 | | ・個別支援計画書に基づく6ヵ月に1度のモニタリングと相談援助を行う ・ペアトレ、保護者交流会、研修会、支援場面の参観、連絡帳、電話などを介した相談援助を行います | | | | 移行支援 | | 地域で暮らす他のこどもと繋がりながら、生活を送ることができるように 具体的移行先との調整・支援方法の提供を行います | |
| 地域支援・地域連携 | | こどもが通う保育所やこども園や幼稚園等との情報連携や、支援方法等に関する相談援助、計画書の作成や見通しに関する会議を開催します | | | | 職員の質の向上 | | 週に1度の事業所内研修や外部講師を招いての研修を年に数回行い、 職員が自信を持って支援に携われるようにしています 月例担当者会議・個人研修発表・プログラム会議・OTPTST研修 | |
| 主な行事等 | | ・ピクニックでゴー・夏祭りお楽しみ会・水遊び・うんどうかい遊び・ハロウィンパーティー・相撲大会・クリスマス会・新年書初め・昔わらべ歌あそび・節分・お別れ会 ・子育てひろばへの参画・保護者会・OT、PT、ST研修・社労士による働き方改革セミナー・虐待、拘束、安全、感染対策、BCP研修・避難訓練・幼保小学校訪問連携会議 等 | | | | | | | |

